

船橋非常通信連絡会

★お・ア・ミ・テ・ィ・ツ★

毎土曜:22:00~

毎日曜:10:00~

ニュース

【第6号】〔1/DEC/1998〕

★常用周波数★

432.76±20, 1295.78

レピーター:1292.72

FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net

FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net/FARE-Net

§◎98年度第2回ネットワーク構築テスト(コンテスト) 結果 §

§ 9月13日(日)にコンテスト方式で行われたネットワーク構築テストの結果は次の通りでした。 §

§ **★430MHz-FM★** **★1200MHz-FM★** §

順位	コールサイン	交信局数	7MHz	10MHz	順位	コールサイン	交信局数	7MHz	10MHz
1	JN1QKR	18	5	90	1	JN1QKR	5	2	10
2	JA6AZE/1	15	5	75	2	JA1QC	2	1	2
3	JN1QKU	12	5	60	3	7N1EYP	1	1	1
4	JA1QC	11	5	55	★参加局★ (*印は430, 1200の2波運用)				
5	JA1BWA	11	3	33	南部	JA1EDJ, JA6AZE/1, 7K2CWU			
6	JH1GEN	10	3	30	西部	JKR1EJU, 7K4TUV,			
7	7N2UWY	7	4	28	中部	JA1QC*, JH1GEN, JH1MQC, JN1QKU, 7N1TCU			
8	JP1JET	6	4	24	東部	JA1BWA, JN1XAB, JO1KRQ, JP1E0I, JS11WA, 7L3UQW			
9	JN1XAB	5	4	20	北部	JA1WLO, JA1XQC, JH1APY, JR1EXL, JG1EYO, JN1QKR*			
10	JS11WA	5	3	15	JO1END, JP1JET, 7N1EYP*, 7L2USW/1, 7N2UWY				

§ *当日は晴天に恵まれ、各々のチャンネルで活発なレポート交換が聞こえましたが、常連局数局が参加 §
 § 出来ず、又JARL千葉非常通信訓練参加などがあり、スコアは伸びませんでした。参加局は28局と前 §
 § 回を上回りました。尚、今回不参加の局も、次回にはリグや電波の伝播テスト、更に交信訓練のため §
 § 是非参加下さい。 [担当 JA1XQC] §

§◎役員会 報告 §

§ 10月4日(日)に、連絡会17名、YUX4名、事務局1名が出席して役員会が開催されました。 §
 § 当日の主な議題は次の通りです。 §
 § (1)JR1YUX=船橋市役所アマチュア無線クラブ局へ、非常時運用の体制強化について要請した。 §
 § (2)FARE-Netと、JJ1YNA=船橋市アマチュア無線クラブ局との関係につき、討議した。 §
 § (3)総合防災訓練の中止を受け、これに代わる行事として、次回の移動運用訓練を更に訓練的要素を強め §
 § て、これを本年度のメインイベントとして実施する事とした。 [担当: JG1EYO] §

§◎98年度第2回移動運用訓練 報告 §

§ 11月1日(日)の移動運用訓練は、準備の都合もあり、メインイベント扱いでなく行われました。 §
 § 今回は南部地区ララポート対岸の日の出町岸壁周辺で実施され、現地参加は JA1QC, JA1BWA, JA1VRZ, §
 § JA6AZE, JG1EYO, JK1CZD, JK1PIK, JK1TUJ, JN1QKR, JN1QKU, JN1XAB, JP1E0I, JP1JET, 7K2CWU, 7K2MZG, 7M4NBVの §
 § 16局、ON AIR参加は6局でした。前回に比べやや寂しい陣容でしたが、それなりに密度の濃い内容 §
 § であったと思います。次回の移動運用訓練には、多数の参加をお願いします。 [担当: JA6AZE] §

§◎98年度第2回技術講習会 報告 §

§ 11月15日(日)10:30~15:00に行われた講習には、JA1QC, JA1EDJ, JA1VRZ, JR1EXL, JG1EYO, JK1PIK §
 § JK1TUJ, JL1CKY, JN1QKR, JN1QKU, JS1KFA, 7K1EYD, 7K1EYM, 7K2CWU, 7L3UQWの各局が参加され、それぞれのテ §
 § ーマに熱心に取り組みました。会場には各局の持ち込んだパソコンが、ズラッと並び仲々壮観でした。 §
 §(1)パケット講習会は、パケット通信の基礎的知識から、フォワードネットによる転送システムまでの概要 §
 § を解説し、そのあと、各局の持ち込んだパケット設備を実際に動かしながら、実技指導と質疑応答の形 §
 § で、不明な点の解明にあたりました。 (担当: JN1QKU) §

§(2)ハンディ用LOW COSTマイク製作は、コンデンサーマイクの使いかたの標準的回路、および各ハンディ機 §
 § への応用回路等を説明し、用意された部品を希望者に配付しました。時間の関係もあって完成には至 §
 § りませんでした。中にはマイクユニットを無理やり分解して、内部構造を調べる研究熱心な局もいて §
 § 盛り上がりました。 (担当: JK1TUJ) §

§◎98年度第3回ネットワーク構築テストのお知らせ §

§ 今回は、運用の場所及び設備の限定をゆるめて、固定からの運用もOKとします。これはより多くの §
 § 局が参加出来る様にするのが目的で、勿論車載機からでも、ハンディ機でもかまいません。 §
 § ネットワーク構築テストとは、大震災の発生直後でも機能可能な通信網であるフェアネットが、本 §
 § 来の活動を行う為に、各自が設備の状態と、交信可能な範囲や相手を掌握する事と、交信訓練を積む事 §
 § を兼ねて行うもので、大変重要なものです。尚、今回もコンテスト方式で、おもしろく参加しやすくな §
 § っています。是非多数の局の参加を期待します。 (担当: JA1XQC) §

★第3回ネットワーク構築テスト参加要領★

§ (1)資格: 当連絡会メンバー (市内在住局)	§ 交信方法
§ (2)日時: 98年12月13日(日)10:00~11:00	§ (1)呼び出し
§ (3)場所: 不特定 但し船橋市内であること	§ ①CQこちらはフェアネット・テスト
§ (4)設備: 固定機(空中線含む)でも可(但し、ビタ不可)	§ ②こちらは(自局のコールサイン)
§ (5)部門: 430MHz帯, 1200MHz帯の2部門	§ ③受信します、どうぞ
§ (6)周波数: 432.760MHz±40KHz, 1295.780MHz	§ (2)応答と交信内容
§ (7)得点: 交信1局につき1点(同一部門内の重複は無得点)	§ ①相手のコールサイン
§ (8)マルチ: 東, 西, 南, 北, 中, 地区各1マルチ	§ ②こちらは(自局のコールサイン)
§ (9)スコア: 得点×マルチ (3地区ならば×3)	§ ③信号レポート(メリットを使用)
§ (10)ログ提出先: JA1XQC 岩橋忠義 ☎にて(住所は名簿参照)	§ ④地区名+町名+固定又は移動
§ (11)提出期限: 98年12月31日 厳守	§ (3)コールサインはフォネティックコード
§ (12)結果発表: 連絡会ニュース第7号	§ を使用、明確な交信を心掛けること。 §

§◎98年度年間スケジュール(残部)紹介 §

§ 98年12月13日 第3回ネットワーク構築テスト	§ (担当: JA1XQC)
§ 99年1月中旬 船橋市防災フェア	§ (担当: JA1OQX)
§ 3月1日 連絡会ニュース第7号 発行	§ (担当: JA1BWA)
§ 3月14日 第4回ネットワーク構築テスト	§ (担当: JA1XQC)

§ *船橋市防災フェアは、今年度、市で行う防災関連の最終行事です。FARE-Netも参加してデモンストレ §
 § ーションを行います。新入会員は必ず参加する様に願います。 §

§◎バッテリーとの上手なお付き合い (2)

JA1EDJ 篠田 一郎

§

§ 前回は鉛バッテリーのお話をしましたが、完全充電時の電解液比重1.26は誤りで、1.28ですので訂正致
§ します。バッテリーを充電しながら、電流を取り出す事を、フローティングで使うと言いますが、鉛バ
§ ッテリーには適した使い方と、言えます。

§ ②ニッカド電池 (標準電圧1.2V/1セル)

§ * 今回はニッカド電池についてお話します。始めに失敗談、二昔ぐらい前S社の新鋭430のハンディ機
§ を購入し、早速SY社のニッカドを10本買って内蔵し、普段は外部電源を接続して使用していました。S
§ 所が外部電源をはずし、内蔵ニッカドだけで使用すると、数回のQSOで使用不能になります。
§ 電池を購入店で数回交換しましたがやはり同じで、SA社製も購入しましたが、同じ状態でした。
§ 両社にクレームしましたが、明確な回答が有りませんでした。

§ 色々実験の結果、完全放電/完全充電しかないと言う事が分かりました。これはメモリー現象と呼ば
§ れるもので、完全放電しないまま充電すると、残留電気量の影響で、放電しにくくなる事があり、これ
§ は現在も改善されていない様です。ニッカドのフローティング使用は難しいので、要注意!

§ 充電は電流を一定で行う定電流法が良く、標準は0.1C(Ahの1/10)で完全放電状態で15時間です。
§ $-\Delta V$ (マックスレイト) = 完全充電直前に、わずかに電圧が下がる現象=を検知して充電をSTOPす
§ るのが最良ですが、超急速充電以外では、検出が難しいのが難点です。

§ 急速充電は電池に指定された、電流と時間を厳守して下さい。これもすべて、完全放電が条件です。
§ 無理をすると、ガス漏れ、液漏れの原因となり、高価なバッテリーをパーにしまいます。

§ ニッカド電池は放電特性がフラットで、コストパフォーマンスにも勝れ、今でも現役バリバリです。特
§ 徴を知ってうまく使いましょう。 一次号に続くー

§◎ちょっと雑学

JA10QX 阿部 幸司

§

§ 冬になると、皆さんも経験した事が有ると思いますが、静電気によるショック、不意に放電するため、
§ かなりのショックを受けます。この静電気、飛行機の中では真夏でも起きているそうです。

§ 飛行機は富士山の2~3倍の高さを飛んでいます。この高度では気温は-50°にもなり、気温は下が
§ る程空気中に溶け込む水分が減り、-50°の空気はカラカラだそうです。

§ 飛行機はこの冷たい乾燥した空気を、機内に取り込みエアコンで室内に送り込むので、長時間飛べば飛
§ ぶ程機内は乾燥して来ます。某機での調査では、機内湿度が出発時50%が3時間後に20%に、8時間
§ 後には3%まで落ちたそうです。

§ トイレのドアに触ったら、バシッと来たと言う様な不快が国際線に多いのは、このせいでしょう。

§ 又、飛行機に乗ると頻繁におしぼりや、ジュースなど飲み物がでるのは、単にサービスだけでなく、肌
§ や喉が乾く事が分かっているからだそうです。

§ 湿度が高いと、静電気は空気中に放電され体に溜まらず、湿度が低いと、逃げ場がなく体に溜まり、ド
§ アノブなどに触れた様な時、一瞬に放電します。導電カーペットなどである程度防げますが、完全とはゆ
§ かず、加湿器で空気中の水分を増してやれば良さそうですが、これも大量の水が必要で、何より結露の間
§ 題が出てきます。外の温度が低く、中は暖かいので、冬の家屋と同じ様に窓や壁に結露して、着陸のため
§ 高度を下げると、これがお客の上にポタポタ落ちて来てしまうそうです。

§ ICやLSIの大敵も静電気、製造段階から各工程を加湿したり、導電マットや体にアース線を付け
§ たり細心の注意を払っています。但しこれらも回路に組み込むと、アースが取れるため比較的安全になる
§ 様ですが、回路の自作時や、単体の取り扱いには、気を付けた方が良いでしょう。

§◎98年度オンエアミーティング 参加状況

CALL	98上	10	11	下	CALL	98上	10	11	下	CALL	98上	10	11	下	CALL	98上	10	11	下
§ JA1 QC	20	2	3	5	§ JR1IJA*	1	0	0	0	§ JN1HYI	2	0	0	0	§ 7L2USW*	4	2	2	4
§ JA1ANP	3	0	1	1	§ JR1QEX*	2	0	0	0	§ 1QKR	30	8	6	14	§ 7L3UQW*	6	7	1	8
§ JA1BWA	21	2	2	4	§ JR1RQJ*	1	2	0	2	§ JN1QKU	34	7	4	11	§ 7M1FDP*	2	1	1	2
§ JA1CVG	11	0	1	1	§ JE1FTN*	5	1	1	2	§ JN1XAB*	10	7	4	11	§ 7M2GPI*	1	0	0	0
§ JA1DJO	3	0	0	0	§ JE1HRI	2	0	0	0	§ JO1GLR*	0	0	1	1	§ 7M3OMF*	14	5	1	6
§ JA1EDJ	24	6	7	13	§ JG1EYO	17	8	2	10	§ JO1KRQ*	1	0	0	0	§ 7M3UBS*	4	0	1	1
§ JA1OQX	24	4	2	6	§ JG1FVG	4	1	0	1	§ JP1BSG*	1	1	0	1	§ 7M4NBV*	23	7	5	12
§ JA1REC	1	0	0	0	§ JG1KHK	2	0	0	0	§ JP1EOI	8	1	1	2	§ 7N1BYP	11	2	2	4
§ JA1VRZ	32	4	5	9	§ JJ1GRM	19	1	2	3	§ JP1JET*	2	2	2	4	§ 7N1TCU*	5	0	1	1
§ JA1WLO	24	3	3	6	§ JJ1TJD*	1	0	1	1	§ JS1IWA	22	5	7	12	§ 7N2UWY	27	4	3	7
§ JA1WOI	8	1	1	1	§ JK1CZD	15	2	3	5	§ JS1KFA	27	2	0	2	§ 7N2UWZ	1	0	0	0
§ JA1XQC	21	3	2	5	§ JK1PIK	2	0	0	0	§ 7K1EYD*	4	2	2	4	§ 7N3MOU*	4	0	0	0
§ JAGAZE	24	7	4	11	§ JK1TUJ	35	4	2	6	§ 7K1WIH*	1	0	0	0					
§ JHIAPY*	7	3	1	4	§ JL1CKY*	4	2	1	3	§ 7K2CWU*	14	6	7	13					
§ JH1GEN	31	4	2	6	§ JL1EPS*	3	0	0	0	§ 7K2MZG*	1	1	0	1	§ JA1BWA	1	0	0	0
§ JH1IHM*	5	1	2	3	§ JL1FJB*	1	0	0	0	§ 7K4HMU*	15	2	0	2	§ JA1VRZ	5	3	0	3
§ JR1DIU	0	2	1	3	§ JL1MFM	9	3	2	5	§ 7K4TUV*	17	5	3	8	§ JA1XQC	1	0	0	0
§ JR1EJU	9	1	1	2	§ JM1DDL	0	1	0	1	§ 7L1FYS*	1	0	0	0	§ JK1PIK	41	6	7	13
§ JR1EXL*	5	2	7	9	§ JM1MUA*	7	1	0	1	§ 7L2NWB*	8	1	0	1					

§ NET CTRL §

§ *期間中一度でも参加された局は69局で全メンバーの51%でした。残りの局も機器のチェックと兼ね
 § 最低月一回は参加して、メンバー相互で御挨拶を交わして下さい。特に新入会員は必ず参加される様に
 § 願います。(コールの後の*印は4月以降の新入会員を示す)
 § 日時、周波数は表題欄を参照して下さい。(担当:JK1PIK)

◎【編集後記】

§ *早いもので、8月に60名の新入会員をお迎えしてから、もう既に4ヶ月が過ぎてしまいました。
 § この間、連絡会のメインイベントの総合防災訓練が、天候不順のため中止となり、さらに市の花火も今
 § 年から中止で、警備、通報訓練もやれず、何も出番のないまま、ずるずると過ぎてしまった様で拍子
 § 抜けの局もあるのではないのでしょうか。
 § そこで当局は、来年1月に行われる、市の防災フェアの日を利用して、FARE-Netの情報伝達訓
 § 練を計画し、これを今年度メインイベントに据えることを提案します。やり方は色々有るでしょうが、
 § 例えば市内数箇所サブ局を開設し、メイン会場の基地局と相互交信して情報伝達訓練を行うなどは、
 § 如何でしょうか。まだ日にちも有りますので、イベント担当の局に検討をお願いします。
 § 新入会員に対する実地講習にもなると思います。(担当:JK1PIK)

発行：船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 編集：担当 JK1PIK 村上 武 ☎65-1828